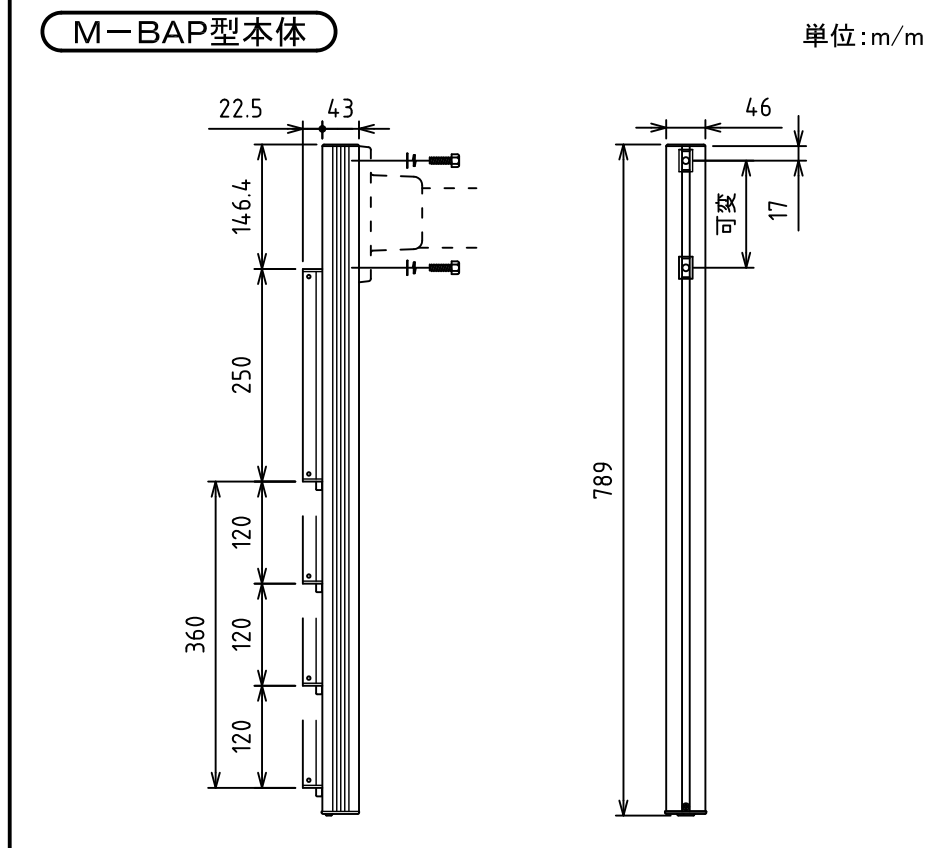


●梱包内容 (2本入箱部品一覧)

※ポールを取付けるボルトは別途ご用意下さい。

- ① 本体 (2本)
 - ② 下キャップ (2個)
 - ③ キャップ取付ネジ (2本)
 - ④ 物干金物取付ネジ袋
 - ④ 取付説明書 (本書)
 - ⑤ 取扱説明書
- 内容:
M8ボルトL25×4
M8平座金×4
M8パネ座金×4

●参考寸法図



⚠ 必ず本書をよくお読みになり、正しくお取付け下さい。

⚠ 非常口、避難ハッチ等の妨げにならない場所にお取付け下さい。

⚠ 高所での作業は部品等の落下に充分ご注意下さい。



取付け上のご注意

●取付け場所・位置

物干金物の取付け場所や位置(高さ等)については、図面指定があればそれに従い、ない場合は御施主様との打ち合わせにより決定して下さい。
構造や取付け方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。

●取付け部の強度

使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意下さい。

- ・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
- ・外壁材の縁から近いところに穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水の恐れがあります。

●ネジの長さ

壁材が厚く、取付け面から下地材(ネジが有効に効く部分)までが遠い場合は、それに合った長さのネジをご用意いただく必要があります。

●防水処置

取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。
外壁材などに下穴をあけたら、穴やその周辺に防水シーリング剤を充填し、浸水しないようにして下さい。
物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処置をして下さい。

●粉塵等の対策

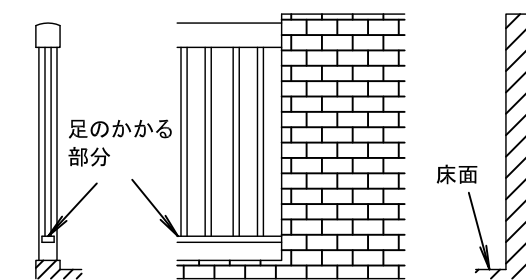
砂(土)埃、特にコンクリート粉等が付着しますと、動作や作動時の音に影響を及ぼします。
御施主様にお引き渡しになるまで、粉塵が付着しないよう、充分ご注意下さい。

⚠ ご注意！ ●お取付けになる前に...

公営住宅建設基準では、手すり乗り越え危険防止のため、床面や、床面から650mm以内にある「足のかかる部分」から、次の高さの「足のかかる部分」まで650mm以上離すことが必要とされています。「足のかかる部分」までを650mm以上にすることを、安全面から、公営住宅だけでなく、一般のマンションや戸建住宅にもおすすめします。

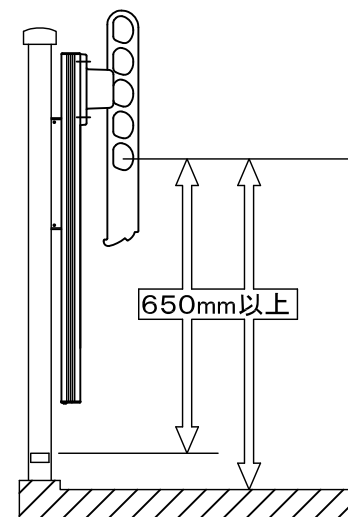
公営住宅建設基準において

床面や、床面から650mm以内にある「足のかかる部分」から次の高さの「足のかかる部分」まで、650mm以上離すことが、手すり乗り越え危険防止のため、必要とされています。



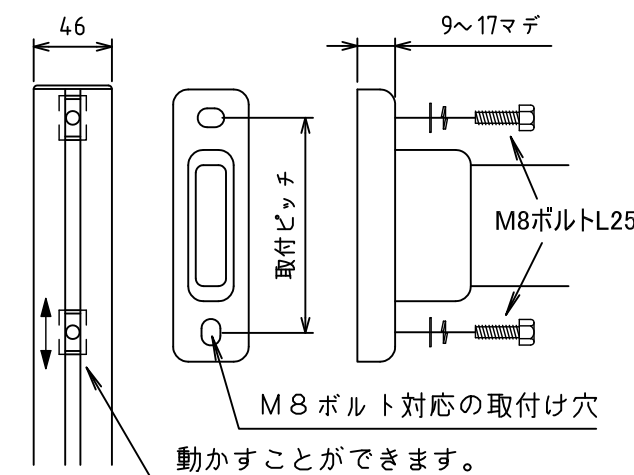
手すり格子の場合は横棧、立上がり壁の場合は床面が650mmの基準になります。

物干金物は、収納時における下竿中心が床面(足のかかる部分がある場合は、そこから)より650mm以上になるようお取付け下さい。



●取付け可能な物干金物

(物干金物の例)

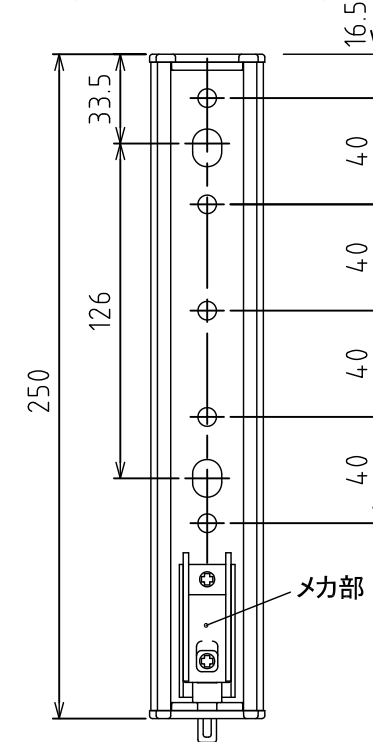


取付け用のM8ナットは、物干金物の取付けピッチに応じて動かすことができます。
ドライバーの先などで、動かして下さい。

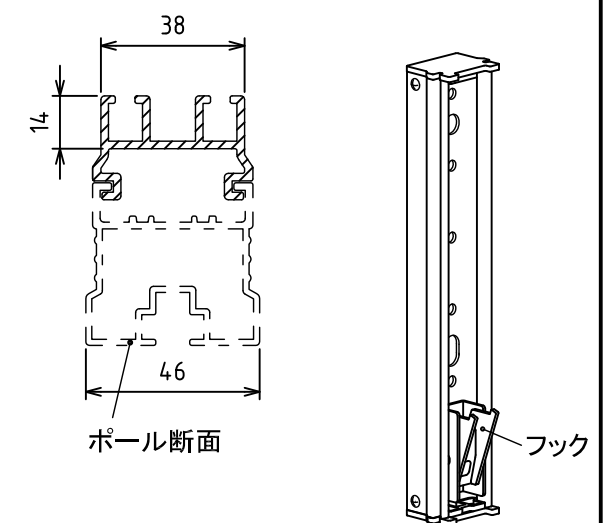
上図を参考に取付けることのできる物干金物をご確認下さい。
M8ボルトの取付けに非対応の物干金物は、取付けることができません。

【ベースの寸法】取付方法は裏面をご覧ください。

(ネジ取付けピッチ)



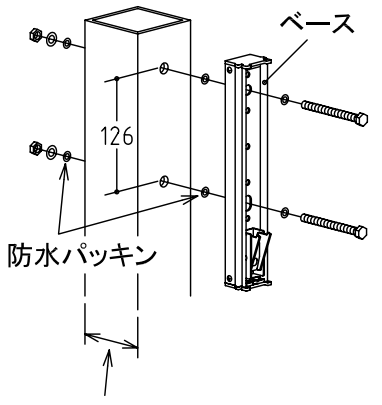
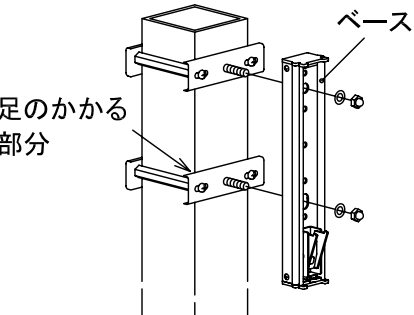
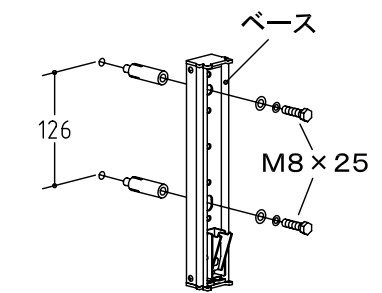
(ベース材断面図)

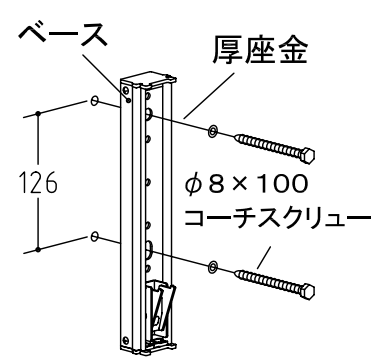
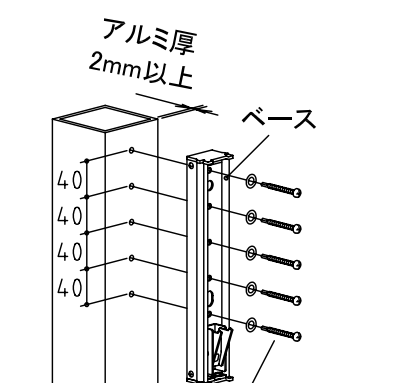
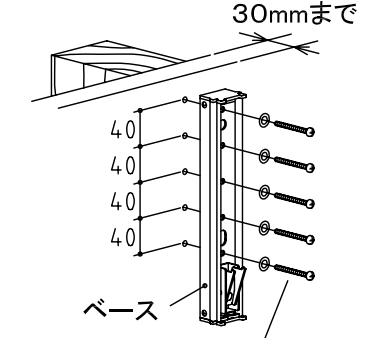


⚠ ご注意！

ネジやボルトを締付ける時は、電動工具やスパナ等が、メカ部を破損しないようご注意下さい。
特にフックは突起になっておりますので、充分ご注意下さい。

ベースの取付方法（該当する取付金具を別途御用意下さい。）

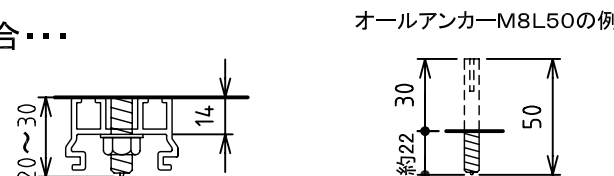
名称	支柱取付け	支柱ハサミ付け	ジカ付け(コンクリート)
取付方法	 <p>防水パッキン</p> <p>51mmまで M8×75 71mmまで M8×95</p> <p>φ8.5~9mmの貫通穴をあけて、穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締付けて下さい。</p>	<p>※金具自体が足のかかる部分になりますので、金具までの高さを650mm以上して下さい。</p>  <p>足のかかる部分</p> <p>35~71mm 35~75mm</p> <p>金具を図のように取付けて、ナットで固定して下さい。</p>	 <p>M8×25</p> <p>φ12mm、深さ38mmの下穴をあけて、RCアンカーを打ち込み、ボルトで固定して下さい。</p>

名称	ジカ付け(木造)	支柱ジカ付け	ジカ付け(木造間柱)
取付方法	 <p>厚座金</p> <p>φ8×100 コーチスクリュー</p> <p>φ6mmの下穴をあけて、コーチスクリューで固定して下さい。</p>	<p>※支柱の厚みは2mm以上が目安です。</p>  <p>アルミ厚 2mm以上</p> <p>ドリルネジ φ5×35</p> <p>ドリルネジ5本で支柱へそのまま固定して下さい。</p>	<p>※壁厚が30mm以上の場合は、ネジが木部に25mm以上有効になるようネジ寸を選んで下さい。</p>  <p>30mmまで</p> <p>タッピングネジ φ5×75</p> <p>φ3mmの下穴をあけてタッピングネジ5本で固定して下さい。</p>

オールアンカー(又は雄ネジタイプのアンカー)をご使用になる場合...

右図を参考に、雄ネジの先端が20~30mmまでになるよう、アンカーのサイズを決定して下さい。
ベースの寸法は、おもて面の【ベースの寸法】の項目を、よくご覧下さい。

注！必ずアンカー単体で打ち込んだ後、ベースをナットで取付けて下さい。



本体の取付方法

①本体からベースを引抜いて 躯体にベースを取付ける。

②ポールをベースに差し込む。

メカ部のフックが引っ掛かりますが、ベース下部にあるスイッチを押し、フックを引っ込めてからポールを最後まで差し込んで下さい。

スライドすると外れます。

ベース

ポールはココに差し込んで下さい。

ポールの断面

引っ込む。

押す。

ベースの取付けは左表をよくご覧下さい。

③ポールにグラつきがない事を確認して、下キャップをネジ止めする。

下キャップをポールにはめ、キャップ取付ネジで固定します。

キャップ取付ネジ

④作動確認をする。

操作方法は、本体ポールに貼付のシールを参照して下さい。

収納

操作ボタン

⑤物干金物を取付ける。

※必要に応じて、取付けネジ用ナットを動かして下さい。

表面の 取付け可能な物干金物の項を参照して下さい。

完成です。

金具

向きに注意！

(後ろから見た図)

※別紙の取扱説明書は、必ず御施主様にお渡し下さい。

御入居者様、御施主様へ

TM-0061-2

M-BAP型 取扱説明書

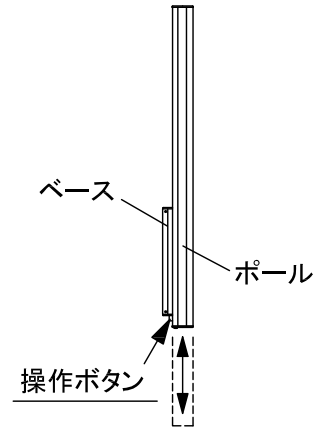
このたびはマツ六株式会社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読み下さい。また、本書はなくさないように保管して下さい。

操作方法 ※操作は、左右交互となります。

ポールは上下のスライド操作が行えます。

- ◎上げる時はボタンを押さずにポールを持って、そのまま持ち上げて下さい。カチッと音のするところで止まります。
- ◎下げる時はボタンを押さずにポールを少し持ち上げて、次にベース下面のボタンを押し、静かに下げて下さい。

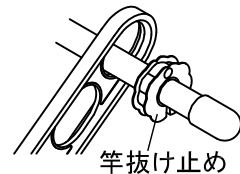
⚠ スイッチを押したままポールを落下させる等の急激な動作は、ストッパー金具がかみ合ってしまう等の故障の原因となるばかりでなく、思わぬ怪我につながります。必ず静かに作動させて下さい。



ポール上下スライド

取扱に際しての注意事項

- ①商品にぶら下がる等、無理な力はかけないで下さい。
- ②ヒモや洗濯ロープ類は使用しないで下さい。
- ③操作は左右交互となりますので、落下防止のために市販の竿抜け止めを必ずご使用下さい。
- ④操作する時は指はさみに充分注意して、周辺に障害物がない事を確認して下さい。



●ポールの遊びの設定について

砂・埃・セメント粉等が僅かな隙間に入り込み、製品の動作を阻害することのないよう、多めの遊びを設定しています。もし動きが悪くなった場合は、充分、水洗いして下さい。
適度な遊びは不具合では御座いません。ご了承お願い致します。

メンテナンスについて

安全のため、取付けがゆるんだり、ぐらついた場合には直ちに取付けネジを締め直して下さい。

～お手入れの方法～ (いつまでも安全かつ清潔に御使用して頂くために)

- ・日常的には柔らかい布でから拭きして下さい。汚れがひどい時は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きして、最後に乾いた布で水分を拭き取って下さい。
- ・シンナー、ベンジン、タワシ等を使っての清掃は避けて下さい。変色、キズの原因となります。
- ・塗装がはがれたりした場合は、市販の油性ペンキで補修して下さい。